

ハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 田口善彦

介護の日イベントについて

今年も、11月10日(木)・11日(金)の両日、中野区役所において「介護の日」のイベントが開催されました。

コロナ禍、制約がある中、中野区、当会関係者の皆様のご尽力の賜物であり、会を代表しまして、心より御礼申し上げます。

各部会からも、前日準備から開催日の担当受け持ちに加え、ノベルティのご協賛など、汗をかいて初めて実現する協力体制は、素晴らしい当会の活動実績です。

中野区介護サービス事業所連絡会 会長 田口 善彦

ケアマネジャーによる介護相談窓口には、1日目12件、2日目22件のご相談をお寄せいただきました。



<前日準備の様子>

ご協力に感謝いたします！



1日目はのべ463名、2日目はのべ649名の方々にお立ち寄りいただきました！

新規事業所紹介

事業所名：さくら訪問看護ステーション（訪問看護）

所在地：沼袋2-20-12ファーストメゾン沼袋202 TEL 03-5942-8981 FAX 03-5942-8982

人員構成：6名（内 看護師5名 理学療法士1名）

ほっとできる「家」のような存在として

2022年8月、沼袋にオープンした「さくら訪問看護ステーション」です。

所長の久保さんは「沼袋地域に根ざしていきたい」「ただできないというのではなく、できることを一緒に見つける」という思いがあります。ご自身の経験から、親を自宅で看取る家族の不安をいちばんに理解してくれます。また、子育て中の働きたくても働けない看護師の気持ちにも寄り添ってくれます。



ステーション内は、スタッフが訪問先から帰ってきた時にほっとできるダイニングテーブルがあり、スタッフ同士がなんでも話せる場所です。「家」のような落ち着く雰囲気がありました。スタッフも「働きやすい環境で訪問看護にチャレンジしています」と笑顔で答えてくれました。

桜を見ているときは、みんなが幸せな気持ちになります。そんな気持ちになれたらいいなという思いから「さくら訪問看護ステーション」と名づけています。春には桜で満開になる通り沿いにあります。桜色のユニフォームが沼袋地域を支える存在になると感じました。近隣地域でお住まいの方へ安心してご紹介できる事業所です。スタッフの皆さんから幸せな気持ちのおすそ分けをいただいでください。

（取材：田村）



事業所名：リハプライド ルフラン（リハビリデイサービス）

所在地：新宿区西落合4-21-9 1F TEL 03-5906-5761 FAX 03-5906-5765

人員構成：7名（内 看護師4名 生活相談員 トレーナー 施設長）

「ルフラン」はフランス語で「継続」なんです。」

「リハビリで一番大事なことは、続けること。

名前を考える時に、ピッタリだと思ったんです。」

そう話すのは10月3日、新宿区西落合にオープンした「リハプライド ルフラン」を運営するeSelect株式会社代表取締役の花堂彩さん。

新宿区西落合という立地からも、中野区の方も利用できるリハビリデイサービス。

その特徴は何と言っても、医学的な実績が豊富だという事。



向かって一番左 代表取締役：花堂さん
一番右 施設長：濱崎さん



リハビリ学の世界的権威である竹内孝仁先生が開発した「老化に対するリハビリ」は、ドイツで医療機器として認証を受けたドイツ製のリハビリ専用マシンで、40年かけて開発したプログラムを半日かけて行うのが特長。特養でオムツを廃止した実績のある竹内先生のプログラムで、安心・安全で楽しく負荷が無くできるリハビリを大事にしている、リハプライド ルフランさん。

オープン直後の取材だったので、「これからルフランのカラーに染めて行きたい。」と語る花堂彩さん、楽しみな施設がまた一つ増えました。

（取材：椎名）

訪問介護部会



訪問介護部会は毎月第3木曜日、18:30～スマイルなかの3Fにて活動を行っています。

現在はコロナウィルスの影響もありオンラインでも参加できるようにしています。

交流会や全体研修の企画や打ち合わせ、それぞれの事業所の状況などの情報共有を行い、中野区の訪問介護がより良い方向に向かうように活動を行っています。

新規の役員はいつでも募集中です。

興味がありましたらぜひ、ご参加ください。



福祉用具・住宅改修部会

福祉用具・住宅改修部会は、福祉用具貸与・販売、住宅改修実施事業所間の情報共有や意見交換を通じ、各福祉用具専門相談員のスキルアップや福祉用具業界の地位向上、会員相互の交流と親睦を図り連携を強化すること、などを目標として活動しております。

定例会は、毎月第3金曜日の夕方に開催しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、しばらくオンラインでの開催が続いておりましたが、感染症対策を万全にしたうえで、対面での定例会開催を再開させたところです。

今後は、研修会などを通じて最新の商品知識や技術の習得に努めると共に、介護の日イベント等での広報活動を通じ、区民の皆様に広く福祉用具についての理解を深めて頂けるよう活動していきます。



グループホーム部会

グループホーム部会では、中野区内の18事業所が参加しております。毎月第三木曜日の18時～19時で定例会を開催しており、情報共有をおこなっております。また、各事業所のリーダー層を対象としたリーダー交流会や、クリニックと連携した認知症状についての研修、口腔衛生についての研修などを開催しています。

定例会、交流会、研修を通して、各事業所が単体ではなく相互に協力しあってレベルアップをしていく、レベルアップをすることで中野区民を高いレベルで支えていくことができる。それこそが事業所連絡会に参加している意義と考え取り組んでおります。

グループホームは認知症状に特化した生活作りのプロフェッショナル集団であると思います。ぜひ、お困りの事があればお近くのグループホームまでお問合せ下さい♪



グループホーム部会会長 福島 誠

訪問看護部会

訪問看護部会は現在、28のステーションが加入しています。

奇数月の第4火曜日に部会を開催しています。令和4年7月の部会では2年以上ぶりに対面での開催となりました。

会長はひよこ訪問看護ステーションの会田さん。副会長はなごみ訪問看護ステーションの川崎さん、東電さわやかケアの関根さん。

令和4年度の活動として、11/25にヘルパー向けに【認知症について】の勉強会を行いました。1月にも研修会を開催予定です。11月13,27日に開催された中野区総合防災訓練にも参加しました。

中野区医師会訪問看護ステーション遠藤所長を中心に中野区コロナ自宅療養者への訪問看護委託事業に力を入れています。

訪問看護部会は一丸となって地域に住む方々の健康の保持、増進に努めて参ります。



小規模多機能型居宅介護部会

小規模多機能居宅介護部会は現在、毎月第三火曜日にオンラインで開催しています。

今年度は、事業所同士の交流の一環として、オンラインでの事例検討会を行ったり、歯科の先生をお招きして口腔ケアの研修会を行いました。

今はコロナの影響でオンラインでの開催となっていますが、今後は対面で開催出来たらと思っています。

もっと小規模多機能の事を沢山の方に知って頂ける様に活動して行きますので、どうぞよろしくお願い致します。



編集後記

広報の皆様、広報誌も完成し、良い年が迎えられそうです。一年間有難うございました。(花堂)
防寒に今年は首を温める電気のカイロ(みたいな)物を購入しました。なかなか良いです。(白岩)
いよいよ今年も終わりに近づいてきました、来年も貢献できるよう頑張ります。(王)

新型コロナは第8波！しかし行動制限のない年末年始… まだまだ気が抜けませんね。(齊藤)
今年も冬の防寒を揃えて寒さに負けずに頑張ります！(椎名)

取材先の事業所さんが整理整頓されてとてもきれい。当事業所も年末大掃除なくては。(田村)

中野通りの街路樹のイチョウはまだ緑色。なぜ？と思いながら見上げた師走の空…。(廣末)

今年もあっという間に年末。時の過ぎ去る速度が特に増したように感じた一年でした。(佐藤)

「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご活用ください。

(<http://www.nakano-kaigo.org/>)

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 小山・佐藤

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階 (日・祝・第3月休)

電話：5380-0751 FAX：5380-0750